

2014年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	情報学科							
科目名	ソフトウェア開発・展開							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期			
必修・選択の別	選択科目(ネットワークコース) 必修科目(ソフトウェアコース)							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションの開発に必要な環境を構築することができる。 ソフトウェア設計書を読みこなし、対応したプログラムを書くことができる。 基本的なWebアプリケーションのプログラミングおよびテストを行うことができる。 							
日程と内容	<p>4/9 導入講義-講義全体の概要説明。本科目の目指す目標を示す。講義の進め方および評価方法の説明。</p> <p>4/16 Java (復習)</p> <p>4/23 HTML、フォーム、コントロール</p> <p>4/30 JSP</p> <p>5/ 7 Cookie</p> <p>5/14 JavaBeans</p> <p>5/21 Servlet</p> <p>5/28 Session管理</p> <p>6/ 4 アンケートアプリケーション</p> <p>6/11 掲示板アプリケーション</p> <p>6/18 チャットアプリケーション</p> <p>6/25 電子メールアプリケーション</p> <p>7/ 2 ショッピングサイト</p> <p>7/ 9 ショッピングサイト</p> <p>7/16 総合演習</p> <p>7/23 定期試験</p>							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> Webアプリケーションの開発に必要な環境を構築することができる。:達成した ソフトウェア設計書を読みこなし、対応したプログラムを書くことができる。:達成した 基本的なWebアプリケーションのプログラミングおよびテストを行うことができる。:達成した 							
反省点	課題提出に一昨年からMoodleというCMSを利用している。極力、一週間以内に評価し、良かった点、不足する点の指摘(再提出)などをリアルタイムで行うように心がけた。最低限の提出マナー(ファイル名やレポートタイトルをつけないなど)を守らない者も数名いたが、今後の就活などを想定して厳しく徹底できるように指導した。							
来年度の計画	今年度と同様と考えている。今年度の定期試験の分布に異常な偏りがあった。調べてみると過去問を入手した一部の学生の点数が通常の課題点より大幅に良かったことが起因していた。担当科目では学生の学習のために定期試験を返却している。来年度は問題を大幅に変えるなど過去問対策を講じたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.2であった。特に問題のあるコメントはなかった。							
履修登録者数	68名	定期試験受験者数	66名	合格者数	66名	合格率	100%	